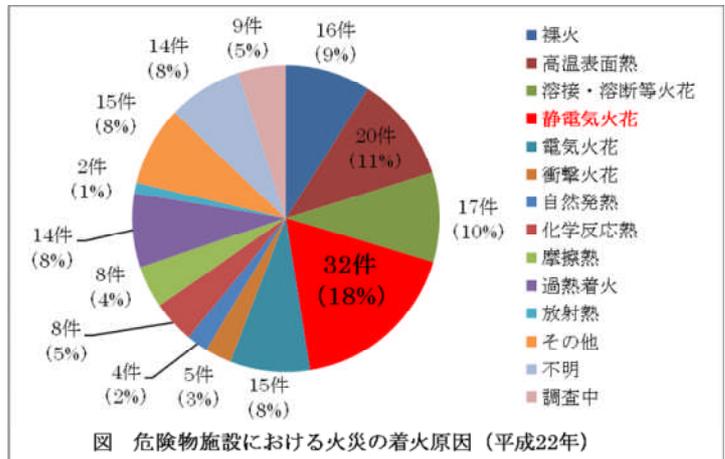


4 7 静電気による火災（2）

平成22年に全国の危険物施設で発生した179件の火災のうち、静電気火花が原因で発生したものは、32件（18%）でした。

平成16年から7年連続で火災着火原因の第1位となっています。



1 静電気火災発生の仕組み

- ① 異なる二つの物体が接触（摩擦等）することにより静電気が発生する。
- ② 一方または両方が電気を通しにくい物質でできていると、静電気が蓄積し、火花（静電気火花）が発生する。（蓄積した静電気は、数千ボルト、時には1万ボルト以上の電圧に達することがある。）
- ③ 静電気火花が危険物の可燃性蒸気などに引火して火災が発生する。

2 県内の事故事例

- ① 製造所で原材料用ドラム缶から計量用ドラム缶にトルエンを移し秤分けしていたところ、アースを接続するのを忘れたため、静電気火花が発生しトルエンの可燃性蒸気に引火した。（H22）
- ② 製造所で濾過器のフィルター交換作業中にアース等の静電気対策をとらなかったため静電気火花が発生し、洗浄に使用した溶剤（トルエン）の可燃性蒸気に引火した。（H20）

静電気による火災は、本来なされなければならない操作を行わなかったといった**人的要因による事故が多い**のが特徴です。

しっかりと静電気対策を行っていれば、多くの静電気火災は防ぐことができます。静電気対策は確実に行いましょう。